



2024年度インド教職員招へいプログラム



プログラム期間中に越谷北高校を訪問した経験が特に印象に残っている。その理由は以下の通りである。



越谷北高校では理論と実践的な活動や学びを統合し、子どもたちの全体的な発達を支える環境が整っていた。



物理学の概念を理解するために熱気球をつくる等、実践的な学びが展開されていた。



生徒たちによる琴の演奏を聴き、自国の文化やその価値を学校教育できちんと伝えていることが分かった。



災害時に役立つペットボトルを使った道具の作成等、理系科目の探究学習に関する活動が紹介されていた。風船の破裂音の大きさと風船を割る方法の関係性について考察する調査も進められていた。





• 日本の学校での学びは、私と同僚が所属機関で開催した“サイエンス・ウィーク等に活かされている。

• サイエンス・ウィークは、科学技術の素晴らしさを紹介する、魅力的な教育イベントで、子どもたちは科学の概念を明らかにするために、様々な展示を用意した。

• サイエンス・ウィークのみならず、多くの文化的な活動も行った。